

平成27年11月12日
四国地方整備局
土佐国道事務所

空輸対応型バックホウ、応急組立橋 組立演習の見学会を実施します

～災害時の初動活動、復旧支援を円滑に～

国土交通省土佐国道事務所、四国技術事務所では、災害発生時の初動活動及び復旧支援活動において、早期に対応できるよう建設機械等の組立演習を実施します。

本建設機械等は、後日開催予定の「道路啓開訓練」で活躍します。

見学会場 高知県南国市物部〈物部川右岸河川敷3k200〉
(土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 下流川側)

見学日時 平成27年11月16日(月)〔午前の部〕 9:00～12:00
〔午後の部〕 14:00～16:00
(11/13～11/19の間は組立作業中で見学は自由です。なお、組立作業中は危険ですので作業区域への立ち入りはご遠慮願います。)

参加者 午前の部 高知工業高等専門学校生 40名程度
午後の部 国土交通省職員 30名程度

演習内容

【空輸対応型バックホウ】

空輸可能な重量まで分解し空輸したとの想定で、現地での組立演習。

【応急組立橋】

道路が崩落したとの想定で、現地での組立演習。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「NO.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

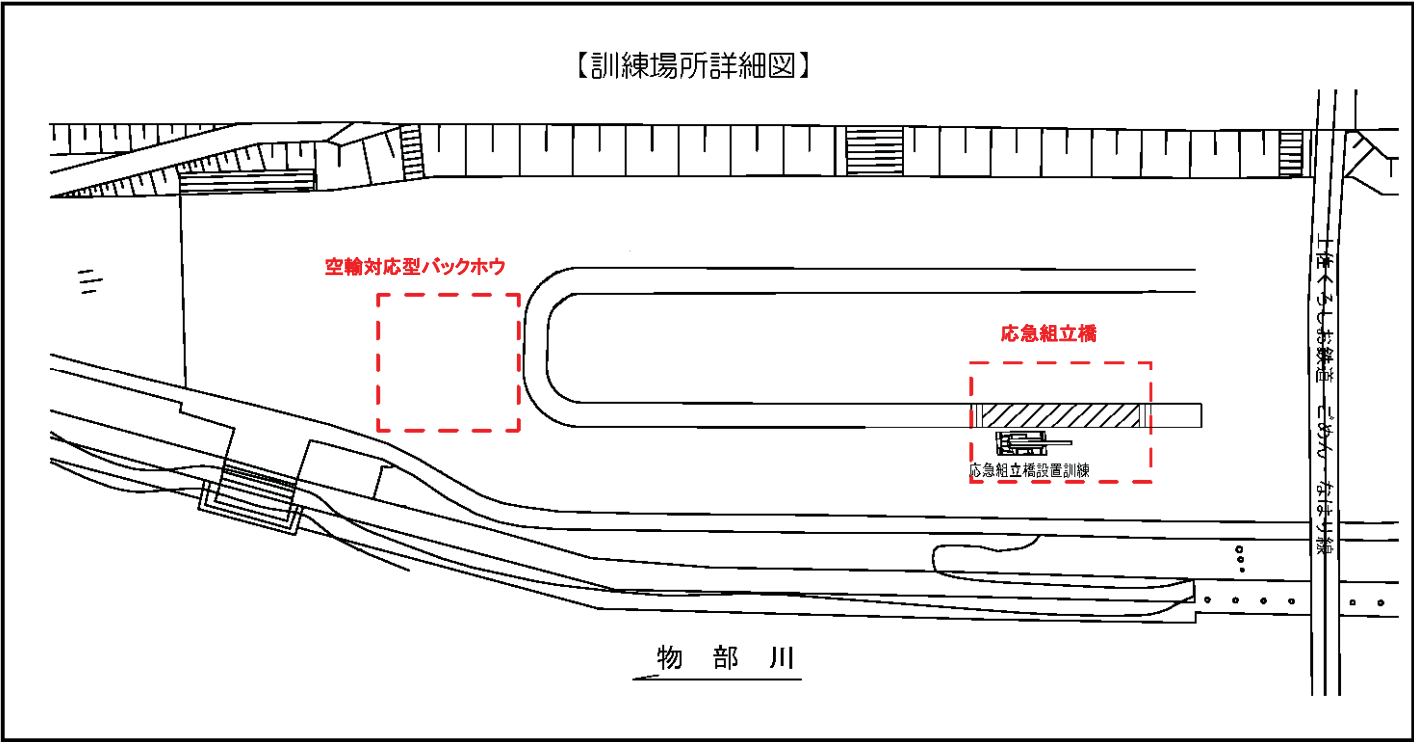
四国地方整備局 土佐国道事務所 TEL: 088-884-0359 (代表)
副所長 田島 基彦 (内線205)
○建設専門官 大林 智仁 (内線405)
○: 主な問い合わせ先

訓練場所 位置図



一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用。この地図は、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平26情複、第76号)

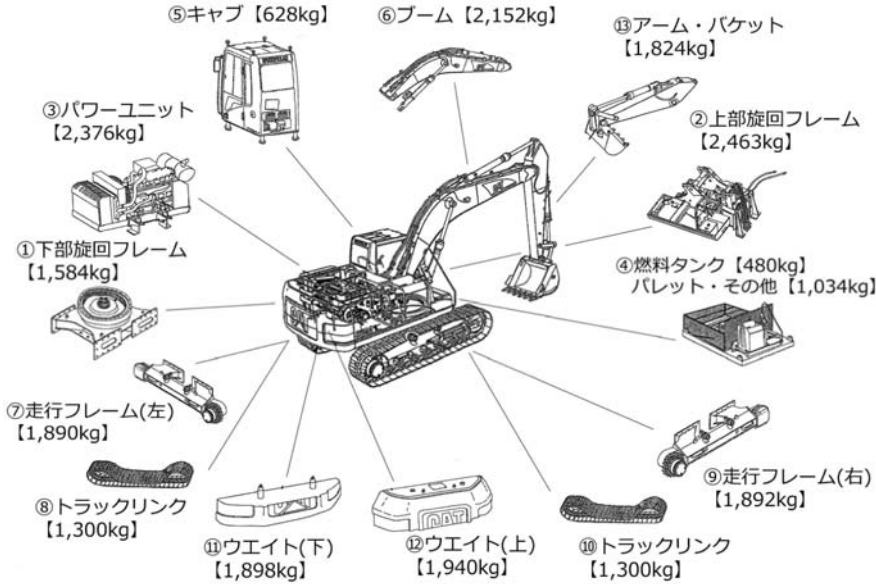
訓練場所 詳細図



空輸対応型バックホウ訓練

空輸対応型バックホウ 諸元

バケット容量 1.0m³
 全長 9,520m(輸送姿勢時)
 全幅 3,150m
 全高 3,030m(輸送姿勢時)
 質量 21,954kg(燃料及び作動油含まず)
 付加機能 クレーン(2.9t吊)
 遠隔操縦式
 マシンガイダンスシステム



現地作業手順

- 現地搬入
- ↓
- 吊芯確認・分解パーツ配置
- ↓
- ミニクローラークレーン組立
- ↓
- 下部旋回フレーム及び旋回ベアリング①
- ↓
- 上部旋回フレームの取り付け②
- ↓
- パワーユニットの取り付け③
- ↓
- 燃料タンクの取り付け④
- ↓
- キャブ及びフロアの取り付け⑤
- ↓
- 油圧ラインの取り付け
電気配線コネクタの接続
- ↓
- ブームの取り付け⑥
- ↓
- 走行フレームの取り付け⑦,⑨
- ↓
- トラックリンクの取り付け⑧,⑩
- ↓
- ウエイトの取り付け⑪,⑫
- ↓
- アーム・バケットの取り付け⑬
- ↓
- カバー及び外装関係の装着
遠隔操作機器類の取り付け

応急組立橋架設

応急組立橋 諸元

形式 下路式トラス橋
 支間 29.9m、23.0m、16.1m
 幅員 車道4.0m、歩道1.5m
 荷重 B活荷重
 車線数 1車線
 床版 耐ノンスリップ性床版



現地作業手順

- 測量
- ↓
- 現地搬入
- ↓
- 沓据付
- ↓
- 地組架台設置
- ↓
- 主構トラス地組
- ↓
- 主構トラス据付
- ↓
- 主構転倒防止材・間隔ゲージ取付
- ↓
- 車道・歩道パネル、手摺設置
- ↓
- 主構転倒防止材・間隔ゲージ撤去
- ↓
- 沓付盛土



H16 R32大久保災害写真



応急組立橋架設完了